

こうち福祉だより

368号
平成30年3月
(2018年3月)
河内地区社会福祉協議会発行



地区社協広報紙コンクール 特別賞受賞



広島市社会福祉協議会による広報紙コンクールが昨年9月にあり、河内社協こうち福祉だよりA3両面カラー刷りの敬老会に参加された皆さんのあふれる笑顔を掲載した363号(10月号)をエントリーしました。138地区社協のうち、37社協が応募し、河内が特別賞を頂きました。幅広く8区の社協での住民による投票と、プロの編集者による審査結果です。

河内社協への応援メッセージには、次のようなコメントが寄せられていました。

◇心温まる話、盛り沢山の内容に地域の温かさがにじみ出ていて、いいなと感じました。

◇文章のタイトルの文字の大きさを、かわいいうおントが、とても見やすく、見ていて楽しかったです。

◇読みやすく興味深い！これからも毎月頑張ってください。



公民館入口に飾っています

今後とも地域の皆さんに楽しみに読んで頂けるような広報紙づくりに、励んでいきたいと思しますので、「意見」「声援」宜しくお願い致します。

中学校・小学校での認知症サポーター養成講座開催

現在、高齢者の約4人に1人が認知症の人またはその予備軍と言われています。国の認知症施策推進総合戦略にも、認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。

三和地域包括支援センターでは、学校で認知症の人を含む高齢者の理解を深めてもらうように小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催をお願い致しました。

早速、2月5日に三和中学校1年1組、2月15日に河内小学校3年生の生徒・児童を対象に開催しました。



寸劇 おばあちゃんの気持ちがよく分かりました

河内小学校ではクラスの児童や担任の先生も参加した寸劇に多くの反響がありました。息子の好物の卵を毎日買ってしまう認知症のおばあさんは、家族に怒られてばかりいたのですが、「どうしたらいいだろう」という問いかけに、たくさんアイディアが出て「買い物と一緒に連れて行ってあげる」と優しい意見も出ました。近所の人も素知らぬ顔をしなないでおばあさんに声を掛けたり、

スーパースーパーの人にも協力してもらおうなど、その行動を否定しなくてもたくさんの方があることを学びました。認知症は脳の病気、その症状を知り、接し方を考えたことは貴重な体験になりました。最後に子ども達に認知症サポーターの証であるオレンジの輪が配られました。

久保田 竜二

3月行事



- 5日(月) 売却資源ゴミ収集日
- 9日(金) まごころ弁当
- 14日(水) 社協理事会・会報委員会
- 16日(金) いきいきサロン
- 19日(月) 野登呂健康教室13時
- 22日(木) 売却資源ゴミ収集日
- 23日(金) まごころ弁当

◇転倒予防教室in魚切

6日・20日・27日 10時〜11時30分 魚切集会所

◇ほつと下城

7日・14日・28日 10時〜11時30分 下城集会所

◇かい&ときーの体操教室

5日・12日・19日・26日 13時30分〜15時

あかり園地域交流スペース

◇オープンサロン窓山

2日・9日・16日・23日・30日 10時〜15時(時間自由)

老人憩の家 窓山荘

芸能祭を終えて

芸能きらめくまち…こうちの春の兆しが訪れた2月18日午後1時から河内地区芸能祭が開催されました。



松田先生のギターに合わせて歌うノリノリの5年生「友達の唄」はを野外活動のテーマソングです

最初の出演は河内小学校5年生の合唱『友達の唄』、リズムを取りながら先生のギターに合わせて歌う子供たちに元気を分けてもらいました。空手道の演武、神楽と子供たちが大活躍。昔の子供たちも民踊、カラオケ、歌謡浪曲、吟詠、大正琴と頑張り、紙芝居、手話歌も演じられました。いつも大好評の岡野光雄さんの喋りとハーモニカ、泉光治さんの草笛と続き、しんがりは大鼓団の大迫力で終演。おまけのお楽しみ会、当たりの人も外れた人も笑顔で帰宅の途につきました。

前日朝早くからの会場作り、昼からのリハーサル、終了後の片付け等関係者、出演者の皆様おつかれさまでした。反省会では「来年はもっと素晴らしい大会にしよう」と数多くの意見が飛び交いました。来年もよろしくお願ひします！

山田 茂雄